

受付番号	5	受付月日	令和7年11月12日 午後3時18分
------	---	------	-----------------------

東郷町議会議長

水川 淳 殿

東郷町議会議員

会派名

無会派

議席番号

6

番氏名

山下 茂

## 一 般 質 問 通 告 書

東郷町議会会議規則第59条第2項の規定により、次の事項について質問（一問一答方式・一括質問方式）したいので通告します。

記

No. 2 - 1

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 ごみ問題への包括的取り組みについて	<p>(1) 各種家庭ごみの定期収集及び資源回収に関する現状とその課題、今後に向けた原因解決及び対策について問う。</p> <p>ア 燃えるごみ収集に纏わる課題を伺う。</p> <p>(ア) 収集量の変動と目標値について</p> <p>(イ) 収集時間の地区別のバラつきについて</p> <p>イ 金属類ごみ及び陶磁器 ガラス収集について伺う。</p> <p>(ア) 収集量の変動と目標値について</p> <p>(イ) 収集時でのヒヤリハットについて</p> <p>(ウ) 顕在・潜在課題について</p> <p>ウ プラスチック資源収集について伺う。</p> <p>(ア) 収集量の変動と目標値について</p> <p>(イ) プラ以外のごみ混入について</p> <p>(ウ) 顕在・潜在課題について</p> <p>エ ごみ排出量削減そのものに向けた取組に関しての、ごみ処理容器及び電動生ごみ処理機の普及状況について伺う。</p> <p>オ SAF 拡大に向けた廃食用油の活用(FRY TO FLY PROJECT)への取組について伺う。</p> <p>カ 令和8年4月からの改正資源有効利用促進法への対応について伺う。</p> <p>(2) 町資源回収ステーションでの現状の課題と、その原因及び対策について問う。</p> <p>ア 全体量としては維持もしくはやや減少傾向にあるが、その結果及び要因をどのように捉えているか伺う。</p> <p>イ 町資源回収ステーションの新設が進まない中、既存施設をより使いやすく改善する考えはあるか。</p> <p>(3) 集団資源回収の現状の課題について問う。</p> <p>ア 登録団体数、奨励金の直近3年間での推移</p>	町長 担当部長

（注）要旨は、具体的に記載すること。

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
2 LiD/APD(聴き取り困難症)への取り組みについて	<p>を伺う。</p> <p>イ 回収品目の直近3年間の推移で、何か特徴はあるか、あれば要因は何かを伺う。</p> <p>ウ 今後、集団資源回収を拡大するのか、するなら何か考えている点があるか伺う。</p> <p>(4) 地区資源回収の現状の課題について問う。</p> <p>ア 回収量のここ数年の推移を伺う。</p> <p>イ 今後、地域資源回収を拡大するのか、するなら何か考えている点があるか伺う。</p> <p>(5) 尾三衛生組合での資源回収実態について。</p> <p>ア 回収品目の直近3年間の推移で、何か特徴は見られるか、またその要因は何かを伺う。</p> <p>イ 粗大ごみの回収で何か変化は見られるか。</p> <p>(6) 店舗や施設での資源回収実態について。</p> <p>ア 回収品目の直近3年間の推移で、何か特徴は見られるか、またその要因は何かを伺う。</p> <p>(7) ごみ減量と資源回収拡大は普遍的課題と考えられるが、将来に向けてこれらを推進するための具体的方策について問う。</p> <p>(1) 所謂、聴き取り困難症への認識、早期発見及び認知向上に向けた考えについて問う。</p> <p>ア 聴き取り困難症への保育、教育現場での認知度を含む現状について伺う。</p> <p>イ 保育、教育現場で聴き取り困難症の可能性が疑われる児童・生徒の報告が過去も含めてあるかを伺う。</p> <p>ウ 聴き取り困難症の可能性が疑われる子どもたちを、早い段階でスムーズに専門職に繋ぐ考えについて伺う。</p> <p>エ 役場内での認知向上、潜在的聴き取り困難症の可能性が疑われる職員の早期発見及び合理的配慮に向けた対応について考えを伺う。</p> <p>オ 保育、教育、福祉などに関わる関係者だけでなく、広く町民に向けた認知向上と理解促進に向けた対応を行うことへの考えを伺う。</p>	町長 教育長 担当部長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。